



公益財団法人 星総合病院

懸虹

(題字は会長直筆)

新年のご挨拶

新・星総合病院開院によせて

- 施設ニュース
- 新・星総合病院開院特集



自由(F20、1998)
会長 星一雄

さて、昨年の十二月十四日から三日間、新・星総合病院内覧会が行われ、五千四百十七名という多くの関係機関、地域住民の方々が見学に訪れました。病院の各種機能、そして、その広さを実感していただき、ドクターへり実地訓練では、消防本部からの期待が寄せられました。いよいよ、平成二十五年一月、新・星総合病院が開院しました。お世話をなつた方々に対し、自分自身は何ができるのか、そして、何をしなければならないか、「スピード」と「確かさ」を持って取り組み続けることの大切さを考え努力して参ります。

星総合病院事務長

渡辺

治夫

<医靈>靈をも醫(癒)やしたい——という創始者の願いを医療従事者の医の心とすべく造られた当法人の理念

醫

靈

新年のご挨拶

新・星総合病院開院によせて



公益財団法人星総合病院 会長 星 一雄

明けましておめでとうございます。地域から期待され、注目される中、新・星総合病院が開院しました。平成13年の土地取得から約11年、職員にとっても念願の新病院であり、感慨深い新年の幕開けとなりました。

昨年12月に実施した内覧会は予想を上回る約5,400名もの方々が来場し、改めて新病院に対する地域の期待の大きさを感じました。新病院開院後は、この期待を「満足」に変えることができるよう、より良い病院作りを目指して参ります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

当法人の理念は、「醫靈」である。「これは辞書には載っていない語である。創始者星一郎が、私達の持てる力を最大限に發揮しでもなおえなかつた人々の靈に対し、それが医道を歩む者が生涯持ち続けなければならぬといふ信念が生れています。それが医道を歩む者やしたい」といふ。これが医道を歩む者が生れました。このことから、医学は科学と人間を常に念頭におき、医学は科であります。その対象は情と心を持つた人間である。このことを常に念頭におき、医学の使命である。医の原点を見据えながら「醫靈」という理念の具現化を図つていきたい。



公益財団法人星総合病院 理事長 星 北斗

明けましておめでとうございます。星総合病院が竣工し、悲願の新病院が開院しました。これまでご支援ご協力をいただきました全ての方々に改めて感謝申し上げます。

地域が望む医療の実現に向けて建築を進めて参りました。新病院では、救急医療の充実、緩和ケア病棟の新設、健康増進施設の併設など、多様化するニーズに対応し新たなサービスを提供していきます。

昨年12月には公益財団法人に認定されました。地域住民の皆様はもちろん、地域の医療機関からも信頼され必要とされる病院を目指します。

この一年が意義ある年となるよう、職員一同精進して参りますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。



公益財団法人星総合病院 総長院長 丸山 幸夫

新年明けましておめでとうございます。予ねて懸案でありました新・星総合病院が竣工しまして平成24年12月14～16日内覧会が開催され5,400名近い方が訪れました。延べ床面積約4万m²、ヘリポートを備えた5階建て、430床の病院が堂々、オープンしました。大変に嬉しく喜ばしい限りです。

振り返りますと平成13年に病院建設用の土地が求められ、やや時間を置いて着工、竣工と続くわけですが、この経過の中で多くの方々からご支援、ご協力を戴きました。有り難いことです。中でも5万数千を越える市民の皆様からの署名活動は病院建設に大きな弾みとなり推進力となりました。皆様から戴いたご好意とご理解を肝に銘じ地域の医療活動に励んでいきたいと思っております。ほぼ同時に法人の名称が変わり公益財団法人星総合病院となりました。名称は重要です。病院は今後これまで以上に公益のために、社会のために、地域医療の推進とともに保健、福祉の向上などに全力で取り組んでいくことが求められています。これらの目標に向かって醫靈の精神に則り邁進していきましょう。今年が病院ならびに皆様にとっていい年でありますことを念願しています。



星繪合病院 病院長 木島 幹博

新年あけましておめでとうございます。念願の新病院も予定通り完成し輝かしい新年を皆様と一緒に迎えることができましたことに大きな喜びを感じております。職員の皆様には震災直後から新病院開設に至るまで幾多の困難を乗り越え、一歩一歩前に進んでいただいたことに心から感謝と敬意を表します。皆様方ひとりひとりの力と、その結集が新病院を完成させたといつても過言ではありません。さらに、お正月の引っ越しということで職員の皆様には、年に1度の家族団欒すら犠牲にしてしまったことに対しては申し訳ない気持ちでいっぱいです。働く環境をさらに良くしていくことで還元していきたいと思っております。また新病院の建設に当たっては、郡山市民をはじめ多くの人々のご協力をいただきました。公益財団法人星総合病院に対する期待の大きさであると思っております。こうした地元住民の期待に応えるべく、今年は今まで以上に地域医療へ貢献すべく医療体制を整える年であると考えております。

星ヶ丘病院 病院長 沼田 吉彦



新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚誼を賜り誠にありがとうございました。星総合病院移転新築工事が竣工し、本年1月に開院を迎えることができました。また、当院では、全職員協力のもと昨年11月には日本医療機能評価機構の再受審を受ける事ができました。これまで以上により高い意識を持ち質の高い医療機関作りに向けて努力していきます。

今年は、新たな医療計画策定の年であり、がん・脳卒中・急性心筋梗塞及び糖尿病の4疾病に、新たに精神疾患が加わり5疾病5事業となり、在宅医療が5事業並びに位置づけられたことから、本県でも福島県総合計画のもとに策定された第六次福島県医療計画策定に当たっています。当院としても、今後は疾病等に応じた医療体制の構築を図ると共に、医療機関相互の連携を強化し安全で質の高い医療の確保を目指し、今まで以上に地域の皆様に信頼される医療機関を目指していきます。今後とも皆様のご支援ご協力をお願い致します。

三春町立三春病院 病院長 渡辺 直彦



新年あけましておめでとうございます。

待ちに待った新・星総合病院が開院しました。先端医療と救急医療を中心とした新しい診療体制に地域からの期待が高まっています。この新病院を中心とした素晴らしい診療ネットワークに三春病院も積極的に参加し、郡山と三春・田村地区の橋渡し役として地域医療の発展を目指す所存です。具体的には、電子カルテを介しての情報共有を活用して、ゲートキーパー役としてのプライマリーケア、後方支援病院（回復期リハビリ）、在宅療養支援病院（在宅医療）、在宅療養支援診療所・介護・福祉との連携などの充実を主な目標として取り組んでいきたいと考えております。また、人口高齢化、厳しい医療経済下での地域住民のニーズをしっかりと把握し、町立病院として期待に応えられるように引き続き努力してまいります。

本年も、今までに変わらぬご指導とご鞭撻を宜しくお願ひ申し上げます。



介護老人保健施設オリオン 施設長 森 慶秋

明けましておめでとうございます。新・星総合病院の新年です。

昨日12月13日内覧会に参加して見せていただきました。広くてきれいで感心しました。ただ、上履き持参で履き替えをとのことで昔のことを思い出しました。大町の元の総合病院も下足番がいてスリッパに履き替えです。最初の星ヶ丘病院も下駄箱があって自分でスリッパに履き替えです。総合病院はそのうちにそのまま上がることに（土足という言いにくいくらいですが）しました。星ヶ丘もそのようになってきましたがその決定には悩みました。大町の総合病院では夜間には下足番がなく、ダンボールにスリッパを入れて置いて自由に履いていただきましたがそれがひどいものでした。ぼろぼろでみんなは嫌がりました。今ではどこもそのままが当たり前ですがここまで来る間にはいろいろなことがあったのです。古い私ごときは昔懐かしい話がたくさんありますが若い人たちは興味がないのか聞いてくれません。こんなときに書かせていただきました。

社会福祉法人愛星福祉会 理事長 星 光一郎



明けましておめでとうございます。新しい年を新しい病院で迎えることができ、喜びもひとしお、関係各位に敬意を表するとともに震災後も通い続けて来られた地域の皆様に感謝申し上げます。

病院のモットーである「おらが町の病院」は愛星福祉会においても、「おらが町の施設」であり地域貢献を大切にするという教えもあります。東日本大震災後、現在も苦境に立たされた医療（福祉）施設が多い中で、早々と再スタート出来る幸運をかみしめ、これからも地域のために頑張って頂きたいと思います。

これから社会保障における医療・福祉介護の分野は、相互の連携協力を進め、地域包括ケアシステムの構築と円滑なその対応が求められます。予算と施策の重点化効率化により連携協力の意義は益々大きくなっていくことでしょう。「病院（施設）」から「在宅（家庭）」への核として地域に根差した活躍を期待するとともに愛星福祉会も頑張りますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

新・星総合病院 開院特集

市内東部地区初の中核病院として念願の新病院運用をスタートしました。

住所：〒963-8501
福島県郡山市向河原町159番1号
電話番号：024-983-5511(代)
FAX番号：024-983-5588
URL：<http://www.hoshipital.jp>

※間違った電話が多く発生しております。
くれぐれもお間違いないようによろしく
お願ひ致します。

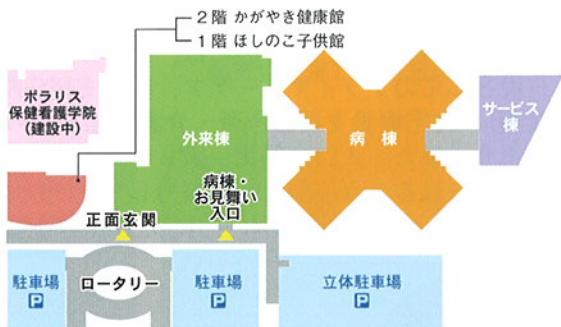


空から見た新・星総合病院

案内図



■敷地内配置図



駐車場

450台駐車可能（病院敷地内）

交 通

路線バス（福島交通）運行スタート

郡山駅前バスターミナル

2番または3番のりばから発車

「まちなか循環線」

南回り、北回り、方八町・イオンタウン回り
いずれも「星総合病院」停留所で下車



星総合病院 ⇄ 星ヶ丘病院、星総合病院 ⇄ 三春病院の病院シャトルバスも運行しています
(バス時刻変更致しました)

新病院内覧会を開催 (平成24年12月14日～16日)

開院より一足先に新病院をお披露目する内覧会を3日間に渡って開催し、約5,400名という多くの方々が足を運んでくださいました。新病院へ期待する声が多数聞かれました。

内覧会のようす



星北斗理事長挨拶



木島幹博病院長挨拶



寄贈絵画除幕『月照安達太良山』
公益財団法人慈愛会（鹿児島県）
会長 納光弘様より、絵画を寄贈
いただきました



医療法人啓信会
(京都府) 理事長
中野博美様より
いただいたキリン
のオブジェ



郡山市長 原正夫氏による山桜の植樹



三春町長 鈴木義孝氏によるしだれ桜の植樹



郡山市立赤木小学校
6年生によるイラス
トがペイントされた
医療用液化酸素タン
クお披露目



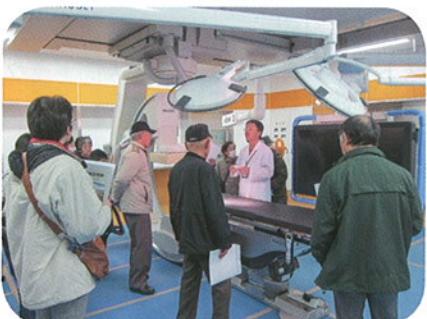
ヘリポートでの
ドクターへリ実地訓練



スタンプラリー抽選会



ポラリス保健看護学院チアサークルの発表



県内初導入のハイブリッド手術室



安積高等学校合唱団コンサート



多くの方が訪れました

新病院開院に向けて



全職員が協力して行った引っ越し作業



新病院での避難経路を確認しながらの初の避難訓練
(12月29日)

新・星総合病院開院

1月1日 入院診療スタート



旧星総合病院及び星ヶ丘病院から新病院へ、入院患者さん79名を移送。入院診療をスタートしました。

1月4日 外来診療スタート



テープカットの様子
(左から、木島病院長、星理事長、丸山総長院長、佐藤総看護師長)

新・星総合病院の新たな取り組み



ドクターヘリ・防災ヘリのヘリポートを設置。1月7日に初のドクターヘリを受入れました。



ICU・CCU を集約。手術室、X線血管撮影室と隣接し、迅速な処置が可能に。



病室は個室と2床室のみに設定



オープンな造りとし、患者さんに目が行き届くよう病棟中央に設置したスタッフステーション



病棟中庭に設けたリハビリコース



立体駐車場から外来棟2階へ続くペデストリアンデッキ。健診・人間ドック等で来院された方に便利です。



渡り廊下に設けた可動式の木のカーテン



エレベーター前の星の数で階数をご案内



プールとフリースペースからなる健康増進施設「かがやき健康館」を併設。
プールでは、水中ウォーキング教室、マタニティアクア等を実施します。



入院中の子どもの療養環境充実を目指し、プレイルーム「マニュライフわくわくるーむ」をオープン。特定非営利活動法人子ども健康フォーラムの支援協力のもと、マニュライフ生命保険株式会社の特別協賛、社会福祉法人中央共同募金会の協力により設置しました。

ぬくもりある木の素材を中心に約160種類のおもちゃを導入。医療保育専門士の資格を持つ保育士が対応します。



小児科外来待合には患児が遊べる「プレイコーナー」を設置



車椅子の方もスムーズに利用できるトイレを外来棟、病棟各階に設置



男性トイレにもベビーキープを設置



敷地内に設けた職員用保育施設「ほしのこ保育園」。健診や化学療法の方のお子さんの一時預かりも実施



職員専用フロアへの出入りの際は、専用のキーでドアを解錠。セキュリティー対策を強化。

当法人キャラクター「ほしくま」のご紹介

親しみやすい病院づくりの象徴として、新しいキャラクターを作成しましたのでご紹介致します。

一生懸命に病院のお手伝いをするために宇宙からやってきた7匹。

「ほしくま」は、病院名とおおぐま座の「北斗七星」を象徴しています。



ドゥーベ メラク フェクダ メグレス アリオト ミザール ベネトナシュ
(リーダー)



新病院特番 テレビ放送のご案内

新・星総合病院の特徴・取り組みを紹介する30分番組が放送されます。ぜひご覧ください。

●放送日時

平成25年2月24日(日)
午後4時55分～5時25分

●テレビ局

福島中央テレビ

星総合病院での外来受診方法

*再来・予約以外の方

正面玄関の総合受付にお越し下さい。

*検査予約（採血・レントゲン・心電図など）のある方

総合受付脇の再来自動受付機に診察券を入れ、受付票をお取りになり、検査受付又は検査更衣室受付へ受付票をお見せ下さい。

*再来・診療予約のある方

総合受付脇の再来自動受付機に診察券を入れ、受付票をお取りになり、各外来受付で保険証と受付票をお見せ下さい。

*診察

診察の順番が来ましたら、お名前をお呼びいたします。

*会計

各外来にてファイルを受け取り、会計戻し口へお出し下さい。

その後、自動精算機へ診察券を入れるか、受付票のバーコードを機械にかざして精算をお願いいたします。

精算後、自動精算機より「領収書・次回の予約券・くすり引換券」が発行されますのでお受け取り下さい。



自動精算機

*お薬

自動精算機より発行された、くすり引換券を、処方箋渡し口へお出し下さい。

外来棟 1階	外来受付 A	内科・循環器科・消化器科・心臓血管外科
	外来受付 B	整形外科・脳神経外科・小児科
外来棟 2階	外来受付 C	外科・皮膚科・リハビリテーション科・緩和ケア内科・麻酔科
	外来受付 D	泌尿器科・歯科
	外来受付 F	眼科・耳鼻科・精神科・形成外科
	産婦人科外来	産婦人科

施設ニュース

公益財団法人認定のお知らせ

財団法人星総合病院は、平成24年12月3日付で福島県知事より公益財団法人の認定を受け、平成24年12月12日を以って「公益財団法人 星総合病院」に名称を変更致しました。

今後は、公益財団法人として、これまで以上に地域の皆様に愛され信頼される病院運営に努め、地域の先生方のご協力を賜りながら地域医療の益々の充実と発展に貢献して参ります。

当法人の目的

当法人は、地域連携と教育を事業の基盤として、地域が必要とする救急医療・高度医療・専門医療並びに介護・福祉事業の提供を以って地域の公衆衛生の向上に資することを目的としています。

星総合病院

クリスマスプレゼントをいただきました 平成24年12月21日

福島県骨髄バンク推進連絡協議会様より、子ども達へのクリスマスプレゼントをいただきました。どうありがとうございました。



三春町立三春病院

みはるフェスタ～希望・未来・明日～ 平成24年11月17日

田村高校合唱部によるミニコンサート、健康チェック、バザー、食べ物の模擬店等の企画に加え、三春病院井上みき医師による「これから季節に流行する病気の予防」をテーマとした講演会を開催しました。約300名の方々に足を運んでいただき、地域の皆さんとの交流を深めました。



ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス
<http://www.hoshipital.jp>
発行／公益財団法人星総合病院
編集／「懸虹」編集委員会
発行日／平成25年1月31日
住所／〒963-8501
郡山市向河原町159番1号

明けましておめでとうございます。今年は念願の新・星総合病院が開院しました。昨年十二月十三日の建物引き渡し後は、内覧会、引っ越し、開院準備、入院患者さん移送等大きな出来事が目白押し。年末年始休みなく、新年の訪れを実感する間もなく、職員総出で「新病院開院」という一大プロジェクトを乗り越えました。誰もが経験することは難しいこの記念すべき事業に、職員の一人として関わることができ大きく光栄に思います。

今年も、新病院の魅力や有意義な情報を発信できるよう取り組んで参りました。誰もが経験すべき事業に、職員の一人として関わることができ大きく光栄に思います。

明けましておめでとうございます。今年は念願の新・星総合病院が開院しました。昨年十二月十三日の建物引き渡し後は、内覧会、引っ越し、開院準備、入院患者さん移送等大きな出来事が目白押し。年末年始休みなく、新年の訪れを実感する間もなく、職員総出で「新病院開院」という一大プロジェクトを乗り越えました。誰もが経験することは難しいこの記念すべき事業に、職員の一人として関わることができ大きく光栄に思います。

編集後記

当法人への寄附について

公益財団法人星総合病院は、税制上の特定公益増進法人に該当し、当法人にご寄附をいただいた場合は税制上の優遇措置を受けることが出来ます。

皆様からのご寄附は、高度・専門医療機器等の整備や患者様のための病院環境整備、健康教育など公益法人としての様々な事業に有効に活用させていただきます。

皆様のご協力よろしくお願い致します。

*ご寄附は、金額に関わらずお受け致します。

*領収書を発行致します。

(お問合せ先)

公益財団法人星総合病院 公益事業推進室

電話024-983-5511(代)

Fax 024-983-5588

星ヶ丘病院

星ヶ丘フェスタ ～みんなで笑顔のアーチをつくろうよ☆～ 平成24年10月27日

各部署による出店、フラダンス、大抽選会のほか、磐梯熱海開湯太鼓保存会による太鼓の演奏や入院患者さんによる合唱など、工夫を凝らした各種イベントを開催。患者さん・ご家族など約600名が参加し、賑やかな病院まつりとなりました。



介護老人保健施設オリオン

家族介護教室

平成24年11月10日

利用者のご家族を対象に、オリオンの特徴や各種取り組みを理解していただく機会となるよう、家族介護教室をスタートしました。第1回目のテーマは「高齢者の食事について」。利用者が実際に召し上がっている給食を試食いただき、おいしく食べやすく工夫された食事を体験していただきました。職員とご家族、さらにはご家族同士の交流の場として、有意義な時間となりました。

